

# 第1回 安曇野総合技術新校（仮称）再編実施計画懇話会

日時：令和6年1月15日

午後6時～7時30分

会場：安曇野市役所4階 大会議室

## 次第

1. 開 会
2. 県教育委員会挨拶
3. 自己紹介
4. 安曇野総合技術新校（仮称）再編実施計画懇話会について
  - (1) 「懇話会」開催の趣旨について
  - (2) 今後のスケジュール及び専門会議について
5. 座長選出
6. 会議事項
  - (1) 「高校改革～夢に挑戦する学び～」について
    - ① 実施方針
    - ② 再編・整備計画【三次】
    - ③ 安曇野総合技術新校の学校像
  - (2) 質疑応答及び意見交換
7. その他

次回の予定

【日時】 令和6年5月下旬頃（予定） 午後6時～7時30分

【場所】 未定

【内容】 総合技術高校の先進事例について講演（予定）
8. 閉 会

安曇野総合技術新校（仮称）再編実施計画懇話会構成員名簿

（敬称略）

区分	氏名	所属等	役職等
自治体	中山 栄樹	安曇野市	副市長
	甕 聖章	池田町	町長
	橋渡 勝也	安曇野市教育委員会	教育長
	山崎 晃	池田町教育委員会	教育長
産業界	高橋 秀生	安曇野市商工会	会長
	相馬 和揮衛	あづみ農業協同組合（JAあづみ）	総務開発事業部長
	宮崎 鉄雄	池田町商工会	事務局長
	小坂 喜康	大北農業協同組合（JA大北）	総務部総合企画管理課長
学識経験者	宮崎 樹夫	信州大学副学長（教育企画・戦略担当）	副学長
地域	斉藤 岳雄	有限会社 斉藤農園	専務取締役
	石井 克則	黒田精工株式会社	専務取締役・工場長
	深澤 大輔	株式会社 大王（大王わさび農場）	代表取締役
	宮島 克夫	松本地域振興局	局長
	早川 恵利	北アルプス地域振興局	局長
同窓会	笠井 明	南安曇農業高等学校同窓会	同窓会長
	山崎 完好	穂高商業高等学校同窓会	同窓会長
	宮澤 敏文	池田工業高等学校同窓会	同窓会長
PTA	中川 雅能	南安曇農業高等学校PTA	PTA会長
	青柳 賢二	穂高商業高等学校PTA	PTA会長
	中山 千並	池田工業高等学校PTA	PTA会長
	小松 公平	安曇野市PTA連合会	副会長
	関 悟志	大北PTA連合会	会長
小中学校等関係者	濱野 久	安曇野市校長会 代表	穂高西中学校長
	吉沢 一夫	北安曇校長会 代表	白馬南小学校長
	松嶋 則行	安曇養護学校	校長
再編対象校	忠地 凌空	南安曇農業高等学校	生徒会長
	出水 和歌	南安曇農業高等学校	生徒会副会長
	北原 邦俊	南安曇農業高等学校	校長
	今溝 秀雄	南安曇農業高等学校	教職員
	小沢 伸二	穂高商業高等学校	生徒会長
	市東 花衣里	穂高商業高等学校	生徒会副会長
	有賀 浩	穂高商業高等学校	校長
	川上 忠志	穂高商業高等学校	教職員
	中山 蓮斗	池田工業高等学校	生徒会長
	北澤 凌雅	池田工業高等学校	生徒会副会長
	武居 正憲	池田工業高等学校	校長
	岩原 昌孝	池田工業高等学校	教職員

【事務局】

学校名	氏名（役職等）
南安曇農業高等学校	（教頭） 本山 義治
	（教諭） 今溝 秀雄、川上 直子、榛葉 亨、中田 貴子
穂高商業高等学校	（教頭） 三宅 浩一
	（教諭） 酒井 慎也、浅見 大輔、川上 忠志、西牧 綾
池田工業高等学校	（教頭） 江尻 一麻
	（教諭） 岩原 昌孝、荒井 幹雄、伊藤 満、勝野 学

氏名	所属等	役職等	
県教育委員会	中島 秀明	高校教育課 高校再編推進室	主幹指導主事
	井出 敦	高校教育課 高校再編推進室	主任指導主事
	有坂 清明	高校教育課 高校再編推進室	主任指導主事

## 新校再編実施計画懇話会開催要綱

### (目的)

第1 県教育委員会が、統合新校ごとの再編実施計画を策定するにあたり、再編対象校に加えて、対象校が所在する地域の意見を聴くため、「新校再編実施計画懇話会」(以下、「懇話会」という。)を開催する。

なお、懇話会は、地方自治法第138条の4第3項の規定に基づき、法律又は条令により設置された附属機関ではないものとする。

### (会議事項)

第2 懇話会は、次の事項について意見交換を行う。

- (1) 学校像、教育方針等に関すること
- (2) 校地・施設・設備等に関すること
- (3) 管理運営等に関すること
- (4) 教育内容等に関すること
- (5) その他、県教育委員会が必要と認める事項に関すること

### (構成員)

第3 懇話会の構成員は、統合対象校の学校関係者(校長、教職員等)、地域の代表(自治体関係者、産業界の代表等)、同窓会、PTA、生徒の代表等とし、必要に応じ、県教育委員会が依頼する。

2 会議に座長を置く。

### (開催期間)

第4 会議は統合新校が開校するまでの間、開催するものとする。

### 附 則

この要綱は、令和2年10月26日から施行する。

# 「新校再編実施計画懇話会」の目的、構成員の役割等について

長野県教育委員会事務局高校教育課  
高校再編推進室

## 1 懇話会の位置づけ

「審議会等の設置及び運営に関する指針（平成14年1月18日制定）」第2（2）に規定する「懇談会等」。

（注）地方自治法（昭和22年法律第67号）第138条の4第3項に規定する「附属機関」ではない。

## 2 主宰者

長野県教育委員会

## 3 目的

統合新校の開校に向けて、目指す学校像や教育課程のあり方等について意見交換を行い、県教育委員会と共に学校づくりを行う。

## 4 懇話会の役割

次の事項について意見交換を行うが、懇話会としての意思を表明する「答申」、「承認」等を行わない。

- 目指す学校像
- 設置課程・学科
- 募集学級数
- 募集開始年度
- 活用する校地・校舎
- 学校教育目標
- 教育課程
- 施設・設備
- 校名
- 校歌・校章
- 統合の方法 など

## 5 構成員として期待される役割

地域や組織の代表として、可能な範囲で情報収集や意見集約等を行い、大所高所から統合新校の学校像や教育課程のあり方などに関する提案を行うとともに、懇話会における意見交換の状況等を地域や組織へ時機をとらえて伝達する。

## 6 その他

新校再編実施計画懇話会開催要綱は、別紙のとおり。

# 「安曇野総合技術新校（仮称）再編実施計画懇話会」のスケジュール（案）

高校再編推進室

年度	月・日	懇話会 校地検討会議	内容
令和5年度	1月15日 (月)	第1回懇話会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「県教委より説明」</li> <li>・実施方針、三次の説明</li> </ul>
令和6年度	1・2ヶ月に 1回開催予定	第2回懇話会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○目指す学校像</li> <li>・アドバイザーによる講演会（予定）</li> <li>・グループディスカッション（予定）</li> </ul>
		第3回懇話会 以降	<ul style="list-style-type: none"> <li>○目指す学校像（ビジョンの共有）</li> <li>・3校生徒、安曇養護学校による学校・学びの紹介、発表（現在の各校の取組み、新校への期待）</li> </ul>
		以降は、進捗状況に応じて開催	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">＜意見交換項目＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学校像、新校の学び</li> <li>○設置課程</li> <li>○活用する校地・校舎</li> <li>○募集開始年度</li> <li>○募集学級数</li> </ul> </div> <div style="text-align: center; margin-bottom: 10px;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 10px;">教育委員会定例会で「再編実施基本計画」を決定</div> <div style="text-align: center; margin-bottom: 10px;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 10px;"><b>統合について県議会で同意</b></div> <div style="text-align: center; margin-bottom: 10px;">≡</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p>新校準備委員会を中心に 校名、学校運営、地域協働、進路、生徒会、校歌・校章など細部にわたり検討 ⇒ 懇話会で意見交換</p> </div> <div style="text-align: center; margin-bottom: 10px;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 10px;">新校開校まで随時（3～4回／年）程度開催</div> <div style="text-align: center; margin-bottom: 10px;">↓</div> <div style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 10px; text-align: center; font-weight: bold; font-size: 1.2em;">新校開校</div>

# 第1回 安曇野総合技術新校（仮称） 再編実施計画懇話会



宇の記号キャラクター「安曇野」  
©長野県教育委員会信州なび局

令和6年1月15日  
安曇野市役所4階 大会議室

1

## ◆ 第1回安曇野総合技術新校（仮称）再編実施計画懇話会

- ① 手指消毒
- ② ソーシャルディスタンスの確保
- ③ 会議時間 1時間30分(90分間)



感染防止対策に可能な範囲でご協力ください

2

## ◆ 第1回安曇野総合技術新校（仮称）再編実施計画懇話会

### 【本日の次第】

- 1 開 会
- 2 挨 拶
- 3 自己紹介
- 4 新校再編実施計画懇話会について
- 5 座長選出
- 6 会議事項
- 7 その他
- 8 閉 会



3

## ◆ 第1回安曇野総合技術新校（仮称）再編実施計画懇話会

1 開 会

2 挨 拶

3 自己紹介



4

## ◆第1回安曇野総合技術新校（仮称）再編実施計画懇話会

### 4 安曇野総合技術新校（仮称）

#### 再編実施計画懇話会について

- (1) 「懇話会」開催の趣旨について
- (2) 今後のスケジュール等について



5

## 懇話会開催の趣旨

### （目的）

再編実施計画を策定するにあたり、対象校が所在する地域の意見を聴くため、「新校再編実施計画懇話会」を開催

### （会議事項）

①学校像,教育方針 ②校地・施設・設備 ③管理運営 ④教育内容 ⑤その他

### （構成員）

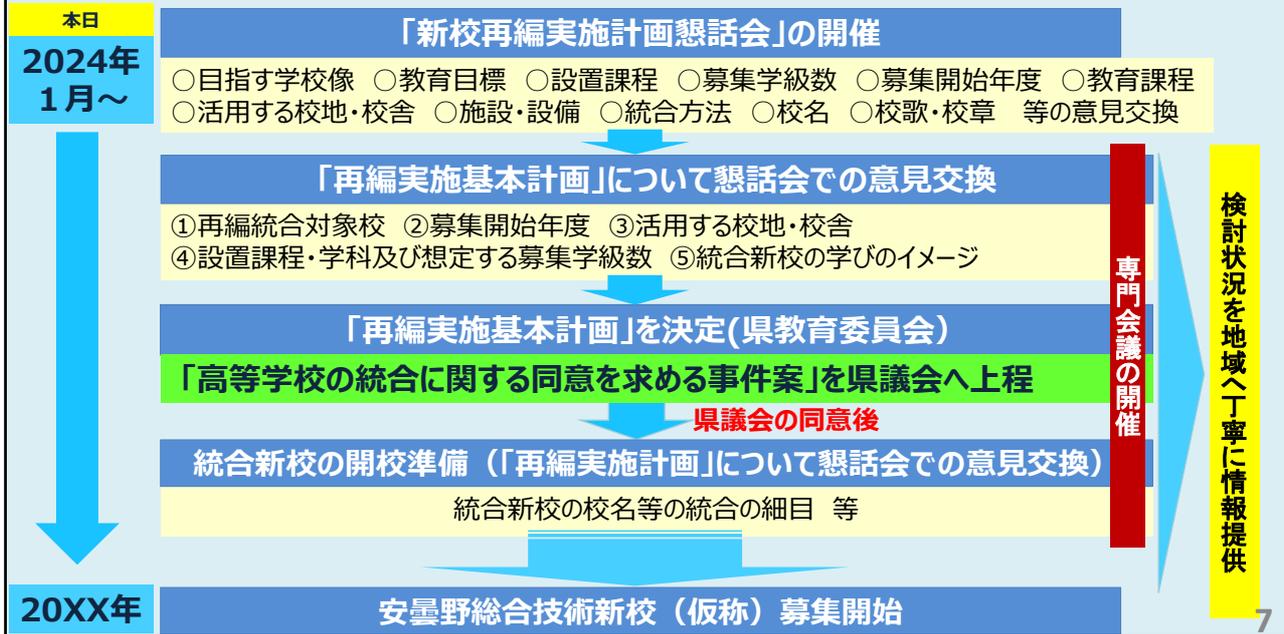
- ①学校関係者（校長、教職員等）
- ②地域の代表（自治体関係者、産業界の代表等）
- ③同窓会、P T A、生徒の代表 等
- ④学識経験者

### （開催期間）

新校が開校するまでの間

6

## 今後のスケジュール等



7

## ◆安曇野総合技術新校 (仮称) 再編実施計画懇話会

### 5 座長選出



8

## ◆安曇野総合技術新校（仮称）再編実施計画懇話会

### 6 会議事項

#### (1) 「高校改革～夢に挑戦する学び～」の説明

- ① 実施方針
- ② 再編・整備計画【三次】
- ③ 安曇野総合技術新校の学校像（例）

#### (2) 質疑応答及び意見交換



9

高校改革 ～ 夢に挑戦する学び ～

再編・整備計画【三次】

2023年（令和5年）1月



10

## 高校改革の経緯

2017年3月 学びの改革 **基本構想**

▶ 「新たな社会を創造する力」を育む教育の推進と高校づくり

旧第12通学区ごとの地域懇談会 意見交換会 パブリックコメント 等

2018年9月 高校改革～夢に挑戦する学び～**実施方針**

▶ 「新たな学びの推進」と「再編・整備計画」の方針

「高校の将来像を考える**地域の協議会**」の設置

- ▶ 各旧通学区における高校の将来像について意見・提案書の策定
- ▶ 県教委への提出

11

【一次】(案)として示し、住民説明会 等

2020年(令和2年)9月 再編・整備計画【一次】

▶ 旧第1、6、8、9通学区の再編・整備計画を決定

【二次】(案)として示し、住民説明会 等

2021年(令和3年)9月 再編・整備計画【二次】

▶ 旧第2、5、8(未確定分)、10通学区の再編・整備計画を決定

2022年(令和4年)5月 再編・整備計画【三次】(案)公表

【三次】(案)として示し、住民説明会 等

2023年(令和5年)1月 再編・整備計画【三次】

▶ 旧第3、4、7、11、12、定時制・通信制の再編・整備計画を決定

12

## なぜ高校改革が必要なのか？



13

## なぜ高校改革が必要なのか？

### 必要な能力の大転換

先端技術の急速な進歩

地球温暖化

VUCAの時代

雇用形態の変化

グローバル化の進展

今までの知識注入型の学びでは  
もはや限界

新たな学びの推進



14

## なぜ高校改革が必要なのか？

### 急激な少子化

～県内中学校卒業生数の推移～



次代の子どもたちに質の高い  
学びの環境を提供するためには…

新たな高校づくり



15

## 高校改革が目指すもの

激変する社会への対応

新たな学びの推進  
(学びの質を充実)

進行する少子化への対応

新たな高校づくり  
(学びの基盤を整備)

「新たな社会を創造する力」を学びの中で培うために

- ▶ **すべての県立高校が**、これからの時代に必要とされる力を生徒に育む新たな学びに転換
- ▶ 夢に挑戦できる**多様な学びの場**、**学びの仕組み**を整備充実

16

これまでの授業

講義型の授業



知識・技能を  
間違えずに習得、  
必要に応じて活用

これからの「学び」の一例

主体的・対話的で深い学び



知識・技能を活用し、  
正解のない課題に向き合い、解決していく

安曇野・大北地域(旧第11・12通学区) 再編・整備計画【三次】

旧第12通学区  
(大北地域)

旧第11通学区  
(松本・塩尻・安曇野地域)

旧第3通学区  
(長野市北部地域)

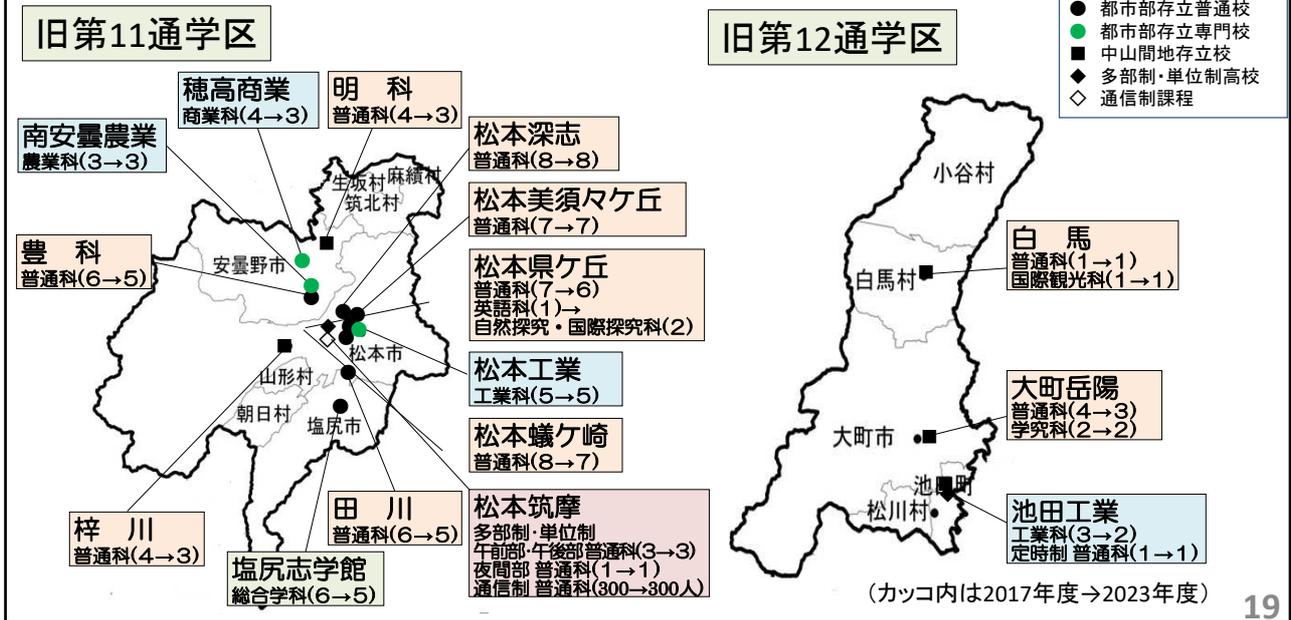
旧第4通学区  
(長野市南部・千曲・坂城地域)

旧第7通学区  
(諏訪地域)

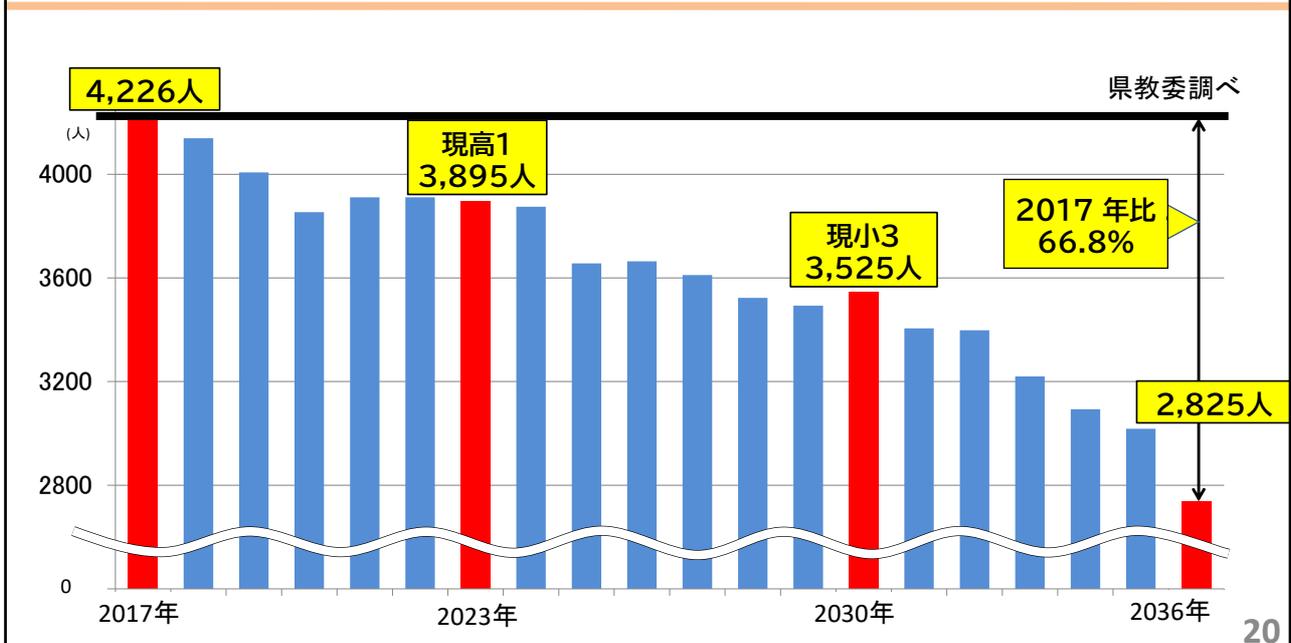
定時制・通信制  
(全県)



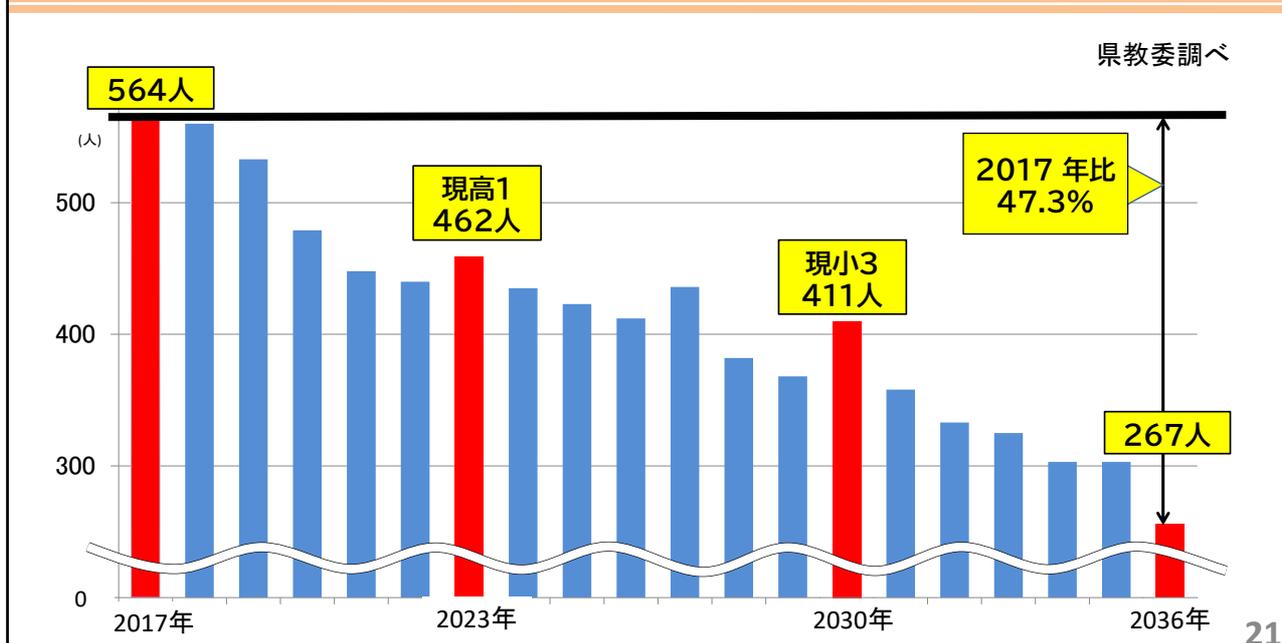
## 旧第11、12通学区 高校配置と募集学級数



## 旧第11通学区 中学校卒業生数の推移と予測



## 旧第12通学区 中学校卒業生数の推移と予測



## 「実施方針(2018年)」旧第11通学区「再編計画の方向」

中学生の期待に応える学びの場の整備

再編を前提とした将来像の検討

専門教育の活力を維持・充実

3市に規模の  
大きさを活かした  
都市部存立普通校

学びの場の保障  
中山間地存立校

活力ある専門教育  
の学びの場  
総合技術高校

## 「実施方針<sub>(2018)</sub>」旧第12通学区「再編計画の方向」

地域の子どもを地域で育てる学びの場の整備

学校規模の縮小化を見据えた地域全体の将来像の検討

普通科とともに特色ある学びの場の充実

総合技術高校等、活力ある専門教育の学びの場の配置

専門高校は、広域的・多角的に検討

23

## 地域での協議



### 旧第11通学区

名称 旧第11通学区高等学校教育懇話会

活動期間 2019年(令和元年)12月～2021年11月

意見提出 2021年(令和3年)12月17日

### 旧第12通学区

名称 大北地域における高等学校の将来を考える協議会

活動期間 2019年(令和元年)9月～2021年12月

意見提出 2022年(令和4年)1月5日

24

## 「学びのあり方」「環境整備」に関わる意見等

	学びのあり方	環境整備
旧第11通学区	探究的な学びの推進	施設・設備の充実 I C T環境の整備
	地域連携の推進	
	普通科・専門学科の充実	
	特別支援教育の充実	
旧第12通学区	社会の変化に対応する力	I C T環境の整備
	新たな社会・価値を創造する力	
	多面的に物事をとらえる力	

25

## 旧第11通学区「高校配置」に関わる意見等

### 基本的な考え方

**社会の急激な変化や少子化を踏まえ、再編は避けられない**

#### 都市部存立 普通校

・塩尻市、松本市、安曇野市においては、適正規模の都市部存立普通校の設置を要望

#### 都市部存立 専門校

・松本工業高校は、期待される工業教育の積極的な展開  
・南農、穂商、池工の再編を想定した総合技術高校について、合同部会の報告を真摯に受け止める必要があることを確認

#### 中山間地 存立校

・梓川高校と明科高校は、地域課題の解決を目指す地域に密着した学習活動を展開し、魅力化を進めながらの存続を要望

26

## 旧第12通学区「高校配置」に関わる意見等

### 池田工業 高校

・少子化の進展に伴い、募集定員を大きく割る状況や募集学級数の減により「再編の基準」への該当が現実のものとなっており、合同部会の報告とともに総合的な視点で高校改革を進めることを要望

### 大町岳陽 高校

・大北地域を背負っていく高校として「卓越性の伸張」と「多様な進路への対応」の両面において更なる特色化を進めることにより、スケールメリットを活かした学びの実現を要望

### 白馬 高校

・白馬・小谷地域の「学びの保障」を踏まえ「中山間地存立特定校」として存続ができるよう早急な検討を要望

27

## 旧第11・12通学区「これから実施する計画」

塩尻志学館高校  
田川高校



塩尻総合学科新校  
(仮称)

南安曇農業高校 (旧第11通学区)  
穂高商業高校 (旧第11通学区)  
池田工業高校 (旧第12通学区)



安曇野総合技術新校  
(仮称)

※既存校を含め、募集定員や新校の校地について十分留意しながら再編を進める

旧第12通学区の定時制のあり方については、  
「安曇野総合技術新校(仮称)」の校地等と併せて検討

安曇養護学校 高等部 あづみ野分教室との望ましい連携について検討

28

## 総合技術高校とは

Society5.0  
超スマート社会  
グローバル化

### 専門教育への期待

- ・変化に柔軟に対応できる**専門能力**の育成
- ・専門分野の枠を越えた**汎用的・多面的な職業能力**の育成

## 総合技術高校の設置を推進



総合技術高校 専門高校

- ◆各産業に必要とされる共通の学び  
→ 基礎学力、DX等のデジタル系の学びなど
- ◆各学科の要素を連携させる学び  
→ 課題研究、地域・企業との協働、探究学習など

総合学科と異なり  
それぞれの専門科目を**25単位以上履修**する

学科の独立性を確保

29

## 総合技術高校の設置を推進する理由

➤ 地域に根付いている現在の**専門学科をできるだけなくさない**

各産業に共通して必要とされる基礎学力を養う学び、各学科の要素を連携させる学び

➤ 予測困難な**新局面に柔軟に対応して学びを深める**

### 柔軟で持続可能な専門教育を追求する仕組み

飯田OIDE長姫高校 飯田工業・飯田長姫(商・工)	2013
須坂創成高校 須坂商業・須坂園芸	2015
佐久平総合技術高校 北佐久農業・岩村田(工)・臼田	2015

+ 4校

長野千曲総合技術新校(仮称)	更級農業 屋代南 松代(商)
岡谷諏訪総合技術新校(仮称)	岡谷工業 諏訪実業(商家)
上伊那総合技術新校(仮称)	辰野(商) 箕輪進修(工) 上伊那農業 駒ヶ根工業
安曇野総合技術新校(仮称)	南安曇農業 穂高商業 池田工業

30

## 安曇野総合技術新校（仮称）に再編・統合する理由

実施方針  
(2018年)

専門教育の活力の維持・充実が必要。また、小規模化が想定される専門学科は、総合技術高校の設置等、広域的・多角的に検討

11区  
懇話会

◇松本工業は期待される工業教育を積極的に展開  
◇合同部会の報告を真摯に受け止める必要を確認  
◇一方、改めて議論すべき等の意見も付記

理由

1

少子化がさらに進行しても、安曇野・大北地域に農工商の学びを残すためには、総合技術高校がベストの選択

理由

2

複数の学科を有する総合技術高校は、産業構造の変化や技術革新にも柔軟に対応できる持続可能な専門高校であること

31

## 安曇野総合技術新校（仮称）の学校像として考えられる姿

安曇野をフィールドに、地域産業と未来を創る生徒を育成する総合技術高校



汎用的・多面的能力  
デジタル系の学び  
地域イノベーション  
総合選択制



地域住民を対象とした  
探究発表会

デュアルシステム  
全学科に導入

安曇野マーケットフェア  
共同開催

安曇野地域共学共創プラットフォーム

3学科の連携・協働により「持続可能な社会」の実現に貢献  
～「自然・環境」「産業・経済」「人間・生活」の調和を大切に健全な社会発展に寄与～

32

## ◆安曇野総合技術新校（仮称）再編実施計画懇話会

### 6 会議事項

#### (1) 「高校改革～夢に挑戦する学び～」の説明

- ① 実施方針
- ② 再編・整備計画【三次】
- ③ 安曇野総合技術新校の学校像（例）

#### (2) 質疑応答及び意見交換



33

## ◆安曇野総合技術新校（仮称）再編実施計画懇話会

### 7 その他

【次回の予定】

- ◆日時：令和6年5月下旬頃  
午後6時～7時30分
- ◆会場：未定
- ◆内容：総合技術高校の先進事例等の講演

### 8 閉会



34